

一般質問（要旨）

一般質問は、定例議会において提案された議案に関係なく、市の一般事務について市の方針をただすものです。

自由民主党
鈴鹿市議員

森 喜代造 議員

茶農家の現状について

（質問）茶農家の現状と今後の取り組みは。

（答弁）本市の生葉の産出額は県内1位であるが、燃油価格・肥料などの高騰や高齢化による担い手不足などにより、茶農家を取り巻く状況は大変厳しい。今後の取り組みとして令和6年度からパティシエなどを志す生徒が在籍する白子高等学校生活創造科へ日本茶インストラクターを派遣して、「鈴鹿のお茶」を使用したスイーツなどのレシピを作成していただき、市内の和洋菓子店にて商品化する予定である。

その他の質問 ○救急車両 ○緊急時における道路防災



公明党

藤浪 清司 議員

「こども誰でも通園制度」について

（質問）保育所などの利用要件を緩和し、親が就労していなくても時間単位などで子どもを預けられるようにする「こども誰でも通園制度」の導入を控えて、現状と課題を尋ねる。

（答弁）試行的事業は、公立・私立保育所などへの意向調査の結果、職員体制の準備が困難な状況のため実施を見合わせた。事業実施に向けては、職員の確保、月10時間という時間設定、短時間利用による子どもへの負荷、予約システム整備などが今後の課題であり、情報収集に努め、協議と調整を行う。

その他の質問 ○働き方改革



市民の声

田中 淳一 議員

人工内耳装用者への支援について

（質問）昨年、本市の市民が、三重大学医学部附属病院で人工内耳装用手術を受けた件数は、約10件であると聞いている。これから装用者が増えていくため、片耳で約2～3万円の費用が必要となる人工内耳の電池交換費用の助成をお願いしたい。

（答弁）人工内耳の電池交換費用の助成については、人工内耳を選択される方の障壁を減らし、その日常生活、社会生活の向上につながるものとするため、今後、支援の在り方について検討していく。

その他の質問 ○部活動 ○広域行政



市民の声

藪田 啓介 議員

鈴鹿市の医療体制について

（質問）松阪市では、軽症者の救急搬送時に7,700円を徴収するとのことであるが、本市の状況はどうか。また、平成20年ごろからの課題である夜間の小児救急が困難になっていることについて、本市の考え方と施策はどうか。

（答弁）本市では、救急搬送された軽症者に対し、選定療養費を徴収する考えはないことを二次救急病院に確認している。また、小児救急については、県への派遣職員を通じて情報収集を図るとともに、県や三重大学などに小児科医師の拡充を要請しており、今後も引き続き働きかけていく。



市民の声

中西 大輔 議員

資産管理と運用について

（質問）固定資産台帳の整備状況は。また、総務省マニュアルや他市事例を参考に、市の資産の把握、公共施設や物品の維持更新、公民連携の手法検討など、一括で取り組む部署設置の考えはあるのか。

（答弁）固定資産台帳の公表に向けて動いている。これを基に、公共施設だけではなく、物品の適正な資産管理にも努める。これまでと同様に、行政サービスを提供する施設の担当課と、公民連携、公共施設マネジメント、財産管理を担当する関係各課が連携して取り組んでいく。



市民の声

藤井 栄治 議員

校舎の長寿命化改修について

（質問）令和5年から白子中学校で長寿命化改修が始まっている。市内一のマンモス校であるが、改修計画では独立した校舎間の移動が大変不便である上、本市が推進する木材利用方針に基づく県産材使用も全く低調ではないか。

（答弁）関係者の意見を聞き、当初1基であったエレベーターを2基に、2階建て校舎間の渡り廊下も屋根付き3階建てに変更し、生徒や教職員の移動に配慮する。県産材使用については、今後一層努めてまいりたい。

その他の質問 ○本市管理の河川整備
○公共下水道事業計画区域

